



■クリーンアップ九頭竜川
今年で10年目を迎えた「クリーンアップ九頭竜川」(勝山青年会議所主催)は、5月25日に市内九頭竜川流域の7会場で開催され、約1200人が参加しました。
今回集められたごみの量は約2000kgで、昨年より100kg減り、一昨年から1000kg以上減りました。
確実にごみは減ってきていますが、まだまだ川にごみを捨てる人はいなくなりません。ビール・コーヒーの空き缶が目立つため、特に大人への啓発活動が必要であると考えられます。

河川の清掃活動



勝山中部中学校

■中学校の河川清掃活動

・勝山中部中学校
5月22日に勝山中部中学校の3年生77人が、校舎横を流れる浄土寺川の清掃を行いました。清掃活動のほかに、川のきれいさの目安となる環境指標生物の採取・観察も行いました。



勝山南部中学校

・勝山北部中学校
上記の「クリーンアップ九頭竜川2014」に勝山北部中学校の全学年110人と、保護者・先生合わせて約220人が参加して清掃活動を行い、分別したごみの傾向調査も行いました。

・勝山南部中学校
6月5日に勝山南部中学校の2年生79人がグラウンド横の淀川の清掃を地元住民の方と一緒にしました。
また、収集したごみの分別も行いました。



勝山北部中学校



勝山南部中学校



勝山の自然を未来の子どもたちへ

～持続可能な社会の実現のために～

勝山市では豊かな自然を身近に感じることが出来ます。「赤とんぼがたくさん舞っている」「ホタルが街中でも見られる」など、これらは都会では決して味わうことのできない貴重な宝物です。
しかし、市民の皆さんはごみまでこの自然の貴重さ・希少さを理解されているでしょうか。
自然はきちんと保護していかなければ、いとも簡単に失われてしまいます。経済活動最優先の社会から、人間と自然、そして社会が調和して共存していくことが重要になっています。
また、子どもの頃から環境について学習し、実践して考えることで、さらにもうひとつ先の未来の子どもたちに勝山の自然を残すことができ、持続可能な社会を実現させることができるようになります。

6月は環境月間です。今月号では、勝山市で行われている環境に関する取り組みの中から、河川清掃や環境教育についてご紹介します。

